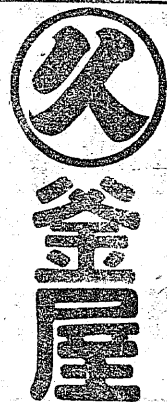


東北新報

毎月一回十日発行
編輯發行印刷人 誠
福島縣石城郡谷村
發行所 東北新報社
福島縣平町二丁目
廣告料一行金五十銭
一部金十銭
一ヶ月郵税共二圓廿銭



電話九番・九九番

平町を想ふ

佐藤陽偉

余一日郷里を離れて三十年前を想ひ起して、平町に平々凡々暮し來りしも、平町會議員の選舉も二回目の時に當りしが漸くにして過日其の選舉も無事終了をつげるに至りたる事は誠に平町制の爲め喜ばしき事である。

石城郡下の各町村に於て日に月に隆盛を極め町制と共に進歩の途路に邁進しつつある然も常磐線に於ては南は東都上野、北は仙臺の大都市の中央に位する處の磐城平は日を追ふて家屋の密接につれて人口も亦多くして全町三萬を越へつつあると聞く。隨て各町民の職務も上下の別こそあれ正業たるなり、中には其

日の生活に苦しんで三度の食も二度とする人も全町人口の何分かは、其の志家によつて助けられて居る様子だが、過日行はれた平町會議員改選に對しては實に公平無比なる理想選舉に近ひ事を行ひ得た、此れ誠に平全町民として慶賀の至りであらねばならぬ。

居食たりて禮節とやらで、人々の中は何と云ふても食ふといふ事が先決問題の様である。此を新しき言葉で云ひは、働く爲に食ふと云ふ人があるが、其れは吾人に言はしめれば、言語の言ひ方が貧乏に思ふ。

何となれば、働かなくとも食ふて居る人もあれば、働いても食ふて居る人もない、先以て五十歩百歩だ。

當平町も新町會議員が決定してより定めし新町制が施される事と吾人は期待されて居る。故に新町會議員の人々も頗る自信ある手腕を以て町會へ望む事と思ふが、もしも町民の期待を裏切る様な事があれば平凡な議員として向ひられる丈の事だ。

吾人は三十年前の平町を想ひ起して見る時に明治三十七八年日露戦争の當時吾人は平を後に上京してより、横濱靜岡を廻り大阪に居住する事十五ヶ年、何等得る處なく歸國して見れば、自分の期待を裏切つて居る。

即ち自分としては平町は平市として新川を中央に家屋の新築、道路

の改造、工場の發達と思ひきや、實に貧弱な平町として少しく家屋人口が密なる丈け、ただ松ヶ岡公園の櫻が大さくなり毎年花見頃には平町名物の一つに數へられ、其つと町民の目を喜ばせて居る位で外に變つた建物として片倉製糸工場の設立、平町名が少しく改名され平停車場が苦しそうに城山の下で幾はち切れんばかりに幾本かの線路の中で作業をして居るが、茲に一つ變つた事は停車場の設置である。

兎に角汽車に乗る事は用向もあれば保養の人もあるが、交通の第一線に立つ停車場の乗下りである。

然るに平驛客車の昇降は如何なるや、貨物列車が手前にあつて、客車の昇降は其貨物列車

の向ふにある。故に老人小供を同伴の客は誠に不便を感じつゝあるが、鐵道省としても今では如何ともなす事が出來ずある事は實に平町民として此後大平市となるにつけても大に残念の事ではあるまいか。

即ち平町へ始めて汽車の開通する三十五年前の線路の設置及び停車場の設立に對して最初新川筋を目ざれしも其當時平町有志の反對なるが爲め遂に前方にも後方にもトンネルをひかひたる平舊城山下へ停車場を設立せざるを得ず今日に及びたるものなれど、只今にては停車場の移動も出來ず、本省としても經營上頗る不便なるを聞く全國到處の都市何れも停車場を中心四方へ繁榮するべきに、平町のみ此運命にある事は實に平町の爲めのみならず誠に地方民の爲めにも惜むべきであるまいか。(つゝ)

堅實にして諸般に精通せる
溫厚徳實の間に高き平驛通に營業せる

酒井伴城氏

平驛頭に大建物の料理旅館とし故に繁榮日を追ふて盛んなり。で永年營業せる番號住吉支店氏は又親兄弟の信情深く過日行として其名濱三郎に聞え渡る館はれた町會議員の候補者たりし主酒井清氏の弟にあたる。

酒井伴城氏は元二丁目横丁に在大と云ふべく、常に店員に對しりしも營業の廣大につれ昨年現ても溫厚なる故に店員も亦氏の在の場所にコンクリートの改築手足となつて毎日の活動振りはをなし、常陸セメント會社の代誠に人員もうらやむなり。され理店、大谷岩の販賣店を一手にば一家誠に圓滿にして隨つて家で引受け店員數名を使用して盛運も日々隆盛なるも不可思議大に營業せる實に與陸六縣に亘ならず、町内の信用も厚く今はりて品質本位を以て親切第一と平町民一般から氏の業務に對して業務に精勵する事一日の如る其發展振りをば期待されて居る爲めに得意先の信用益々厚く。

(記者)

石城郡銀行組合

夏物取揃ひました
皆様どうぞ當店へ

三井吳服店

電話 二三八番

支那料理
平町ボタ

電話五七六

當選御禮

神谷村會議員改選に際し各位の御同情に依り當選致し候間厚く御禮申候

昭和八年六月十日

志賀 龜作
鈴木 秀吉
佐藤 新次郎
佐藤 長次
中野 辰之助
鈴木 庄之助
鈴木 善壽
鈴木 與右衛門
西山 喜代太
榊原 多章
木村 幸雄
赤塚 半五郎

當選御禮

平町會議員改選に際し立候補致候處絶大なる御同情により當選の榮を擔ひ候段奉深謝候今後誠心誠意町治に盡力各位の御期待に添ふ覺悟に候乍略儀以紙上御禮旁々御挨拶申述候

昭和八年六月十日

(イロハ順)

井上 茂作
石山 治三郎
花澤 久一郎
根本 品藏
小野 伊佐治
川崎 文治
吉田 金作
高橋 龜松
多田 井笑次郎
馬目 武之助
松崎 長太郎
會川 延太郎
佐々木 隆若
坂本 隆藏
酒井 正清
關内 正吉
鈴木 光一
堀木 喜一
猪狩 觀德

當選御禮

平町會議員選舉に際し各位の深甚なる御同情により當選致候段厚く御禮申上候乍畧儀不敢取以紙上御禮旁々御挨拶申述候

昭和八年六月十日

野崎 滿藏
萩原 義雄
吉村 安次郎
吉田 寅之輔
吉田 五平
新井 滋藏
荒川 淺次郎
馬目 雅治
綠川 喜三郎
佐藤 幸太郎
小松 茂

當選御禮

内郷村

加藤 丈夫

御料理屋 住吉
旅館 支店

電話 一四九番

常陸 大谷 井酒
セメ 石 伴
トメ 販 城
代理店 店 商

電話 六六一番